

地域と商店街を繋ぐ「なわて 水辺プロジェクト」 (ナワテ通り商業協同組合)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

「頑張っている店主のいる街をめざして！」～魅力的な街とは、物語がある街～

- ・ 女鳥羽川のせせらぎに寄り添い、花や緑にあふれた環境にやさしい街
- ・ 健康ウォーキングやジョギングを楽しむ市民が憩い、車椅子やベビーカーが安心して通行出来る街
- ・ 朝も昼も夜も一年中賑やかな商店街を訪れる観光客が「また来たい」と思う街
- ・ 「何よりも自分たちが頑張っている！！」店主のいる街

地域発 元気づくり支援金の活用状況

- 市民が憩える空間として元気づくり支援金を活用して購入したベンチ6脚を通りに設置、日々多くの人々がベンチを使用している状況。
- 水辺のマルシェは、4年目に入り今年度も4回開催。ナイトバザール3年間開催。
- シンポジウム・公開セミナー3年間3回開催。

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H23	地域と商店街を繋ぐ「なわて 水辺プロジェクト」	ワークショップ、水辺のマルシェ、かえるナイト、ナイトバザール、シンポジウムの開催 ホームページの制作、休憩・フリースペースの設置	3,000 千円
H24	〃	水辺のマルシェ、ナイトバザール、市民公開セミナー、水辺の学習会の開催、ベンチの設置	1,380 千円
H25	〃	水辺のマルシェ、ナイトバザール、連続学習会、シンポジウムの開催、ベンチの設置、ホームページ、ブログの更新	756 千円

最近の活動内容

水辺のマルシェ開催4年継続
橋の上のマルシェは、毎回30店舗程参加。
水辺の劇場は、毎回5組以上のパフォーマーが参加。

市民主体の運営で、マルシェ参加者や市民ボランティアが当日までの企画・広報を担当し、チラシ作成・HP・ブログ・フェスブックなどを主に告知し確実に来場者を増やしている。
チラシの印刷代金等は、広告掲載で費用を捻出。



【水辺のマルシェ】

取組の効果

継続により上記の広報に加えて、口コミで広まり、多くの方が松本中心市街地に来る効果をあげている。

出店者である、仕事以外で作家活動をする方や生産者の方は、制作活動などの発表の場、交流の場を持て、意欲を持つことが出来る。

女鳥羽川の水辺の活用が盛んになることで、多くの方がまち中の自然空間を見直すきっかけになってきた。

なわて通りの空間にベンチを設置することで、滞在時間が延びゆったりまち中を楽しむ効果をあげている。



【水辺のマルシェデコレーション】

課題、今後の事業展開など

水辺までのアプローチが難しく、より多くの方に水辺へ降りてもらえる工夫が引き続き必要。
そのためのボランティアなどの人材確保が必要。
次年度も継続予定。

団体名 ナワテ通り商業協同組合（松本市）
連絡先 kei@taiyaki-ya.com (担当山本)
公式HP <http://nawate-pj.com/>
ブログ <http://mizubepj.naganoblog.jp/>